

今、全国で建設業の死亡労働災害が急増中！

建設業労働災害防止大会

平成26年11月11日(火) 13:00~16:30

ウィルあいち ホール 名古屋市東区上堅杉町1

初

ステージ上にトラッククレーンが！法廷が！迫真の劇で労働災害防止を訴えます

産業活動が活発化する一方、深刻な人手不足の状況下で死亡労働災害が急増しております。厚生労働省の発表では、平成26年1月から6月までの上半期の全国の死者数は、19.4%増の437名と大幅に増加しており、中でも建設業は28.2%増の159名と急増しており、業界団体等への労働災害防止に対する緊急要請が行なわれております。

愛知県でも製造業を中心に重篤災害が多発しており、同時期の死者数は26名と25%増であり、同じく緊急要請が寄せられております。また名古屋北労働基準監督署管内でも、昨年は0件であった建設業の死亡災害が、本年は9月上旬で3件発生しております。大規模工事が続くなか繁忙となる年末に向けて、さらに多くの災害が発生することが懸念されます。

そこで下記団体が共催となり死亡災害ゼロと労働災害の減少を誓う、「建設業労働災害防止大会」を開催いたします。建設各社の安全担当者、工事現場責任者及び協力会社の方々に、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

挨拶

名古屋北労働基準監督署長 田中哲夫氏

安全講話

建設業の労働災害発生の現状と問題点について

名古屋北労働基準監督署 安全衛生課長 松田成正氏

事例発表

ザ・パークハウス久屋大通ローレルタワー
新築工事における安全の取組み

清水建設(株)名古屋支店 建築部 ザ・パークハウス久屋大通ローレルタワー
新築工事作業所 所長 平井則行氏

工事概要

平成25年5月着工、平成27年3月竣工予定の名古屋市中区丸の内3丁目の23階建ての高層マンション。建築面積1,146㎡ 延床面積17,878㎡。建築部材を工場生産し、工事現場での省力化と工期短縮を図る工業化工法を採用している。



工事中のタワーマンション

労働劇

波紋 "ある工事現場の悲劇"

脚本・解説 福岡宗也法律事務所 所長 弁護士 庄司俊哉氏
出演 一般社団法人 名北労働基準協会 職員・安全衛生部会長
建設業労働災害防止協会 愛知県支部名古屋北分会役員

あらすじ

無資格者のクレーン操作による死亡事故を起こした伏見建材。事故の波紋は亡くなった労働者の家族だけでなく、事故を起こした労働者、他の社員まで及んでいく。刑事上の処罰、民事上の賠償責任が降りかかる中、経営者の兄弟は必死に会社を守ろうとする。しかし、兄弟は病床の先代社長の最後の言葉に、経営者としての責任の重さを悟り重大な決心を固める。

名北協会では平成26年3月と7月開催の労使紛争解決手続実演セミナーにて庄司弁護士脚本による労働劇を行い、200名以上の方から「迫真の演技で労使紛争の実態がよくわかった」と好評をいただき、CBCテレビのニュースでも放映されました。



トラッククレーンでの作業。この後死亡災害が



裁判で社長を厳しく追及する弁護士

大会宣言

建設業労働災害防止協会 愛知県支部名古屋北分会

会費:無料 資料代:1名1,000円 ※申込方法は裏面をご覧ください。参加人数だけご連絡の"事前一括申込み"も可能です

主催 一般社団法人 名北労働基準協会・建設業労働災害防止協会 愛知県支部名古屋北分会
後援 名古屋北労働基準監督署

